

1. 件名：特定原子力施設監視・評価検討会（第97回）に係る面談

2. 日時：令和4年1月31日（月）13時30分～15時25分

3. 場所：原子力規制庁18階会議室

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

竹内室長、岩永企画調査官、澁谷企画調査官、正岡管理官補佐、大辻室長補佐、

横山係長、石井係長、久川係員、塩唐松係員、

新井安全審査官（テレビ会議システムによる出席）

福島第一原子力規制事務所（テレビ会議システムによる出席）

小林所長

東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー

プロジェクトマネジメント室 松本室長ほか7名（テレビ会議システムによる出席）

福島第一原子力発電所 5名（テレビ会議システムによる出席）

5. 要旨

○原子力規制庁は、東京電力ホールディングス株式会社（以下「東京電力」という。）から、次回（第97回）特定原子力施設監視・評価検討会（以下「検討会」という。）の議題に関し、資料に基づき以下の説明を受けた。

➤ ALPS 処理水希釈放出設備及び関連施設の新設について

➤ 過去の指摘事項への対応状況

✓ 廃棄物管理の適正化に関する進捗状況

✓ 3号機原子炉注水停止試験時の全α（HEPA フィルタ通過前のダスト）検出

✓ 原子炉建屋健全性評価の進捗状況

○原子力規制庁は上記内容を確認するとともに、以下のとおりコメントを行った。

【過去の指摘事項への対応状況】

✓ 第97回検討会で回答予定としているコメント7件のうち、第97回では途中報告のものであり、回答の完遂に至らないものについてはその旨を明記すること。

✓ 2021年度内に回答を求めていたものについて、2022年度以降の回答になるものについては、期限内での回答が困難となった理由と併せて、検討を進める際の課題となる事項等があれば示すこと。

✓ 放射性物質分析・研究施設第2棟の設置に係る対応状況について、令和3年2月13日の福島県沖地震を踏まえた耐震設計の見直しに係る検討を行っている旨を追記すること。

✓ 地下水流入抑制の対応状況について、原子炉建屋流入抑制対策として今後実施を予定している3号機を対象とした試験の詳細を示すこと。

- 廃棄物管理の適正化に関する進捗状況
 - ✓ コンテナ点検の進捗状況において、コンテナ内部に水を確認した場合は水抜きを実施と記載されているが、既に対応が完了しているのであればその旨明記すること。
 - ✓ シート養生されているコンテナの外観点検の実施方法について詳細を示すこと。
 - ✓ コンテナからの敷地外への流入防止措置である土嚢の設置等、今回、廃棄物管理の適正化を検討するにあたって、新規で追加することとした対策についてはその旨を明記すること。
 - ✓ 2028年度までに現在屋外保管されているコンテナ等を屋内で適切に保管するという目標に対し、全体スケジュール等含めて検討状況を示すこと。
 - ✓ 『過去のコメントへの対応状況』で回答を求めているものについて、説明資料のどこが回答箇所となっているのか分かるよう資料構成を見直すこと。

- 原子炉建屋健全性評価の進捗状況
 - ✓ 2021年度に実施した調査の目的及び調査結果を踏まえた今後の展望について記載すること。
 - ✓ 1号機原子炉建屋への地震計の設置に係る検討状況について示すこと。

○東京電力からは、上記コメントのうち対応が必要なものについては検討の上、検討会の資料を作成する旨回答があった。

6. 資料

- ALPS 処理水希釈放出設備及び関連施設の新設について（案）
- 特定原子力施設監視・評価検討会における『過去のコメントへの対応状況』について（案）
- 廃棄物管理の適正化に関する進捗状況について（案）
- 3号機原子炉注水停止試験時の全 α （HEPA フィルタ通過前のダスト）検出について（案）
- 1F 中期的リスクの低減目標マップを踏まえた検討指示事項に対する工程表（案）
- 滞留水貯留量と滞留水中の放射性物質質量について